

## 第6次斜里町総合計画策定委員会 第1回部会長会議 記録

1. 日 時 平成24年12月26日(水) 18:30~21:10
2. 場 所 ゆめホール知床 会議室3
3. 出席者
  - ・委員：委員長ほか、計9名
  - ・事務局：北総務部長ほか、計5名
  - ・オブザーバー：1名
  - ・傍聴者：0名◇合計：15名(別紙)
4. 結果要旨
  - 部会協議に移行する前に、策定委員で総合計画に対する認識を共有する必要があり、全体会議を一月中に開催することとした。
  - 総合計画の策定内容に関して町長の意見・意向があるならば、早めに表明してほしい旨の希望が示された。
  - 町民主体の策定委員会方式といえども、事務局は積極的な資料・素材提供をするべきとの意向が示された。
  - 総合計画のあり方(総論)協議は、早い時期にアドバイザーを招いての研修を受けたうえで、臨んでいきたいとの意向が示された。そのアドバイザーには、自治基本条例の策定にあたって多々助言を賜った北大公共政策大学院の山崎教授が相応しいのではないかとの意向が示された。
  - 次回全体会議の後に、引き続き全部会を同時にスタートさせ、今後の進め方などを確認することとした。
  - 第5次総合計画の総括作業は早急に役場で進めるよう指示がなされた。
5. 結果詳細 下記のとおり

---

<結果詳細> (主な意見等を記載)

### 1. 開 会

- ・ 渡辺企画総務課長の司会進行で開会した。

### 2. 委員長挨拶

- ・ 全体会議後、選挙もあり 1 ヶ月経過してしまっただが、まだ策定実務に入れていない。部会長の皆さんも総合計画に対する共通認識も持っていないのが実情だと思う。今会議で深めていきたいと思っている。

### 3. 議 事

#### (1) 第 6 次斜里町総合計画の策定方針について

- ・ そもそも論だが、「総合計画とは何か」から入らなくてはいけない。委員の総合計画に対する認識を深める必要がある。
- ・ 第 4 次、第 5 次総合計画の時は、たたき台があり作業を行ってきたが、今回は本当に 0 (ゼロ) スタートとなるのか。各論 (各個別事業) に対する議論ばかり出て、総論の議論に行きつかないのではないか。
- ・ 現時点では、何をしたいのか掴めない。これまでの資料では無味無臭な感がある。たたき台がないと議論はできない。
- ・ 今後行政から、第 5 次計画の総括資料が提供されてくると思う。その資料を基に作業に入っていくので、全くの 0 ベーススタートではないのではないか。第 5 次計画総括内容を検討して、事業の継続・打ち切りや、新規に盛り込む事業を決めていけば方向性は見えてくるのではないか。
- ・ 第 5 次計画に修正を加えていくような形をとれば、それほど難しくなく基本計画は出来るのではないか。
- ・ そもそも、総合計画が不要であると思う人もいるのではないか。
  - 以前は法律で定められており作成してきたものであるが、第 6 次計画からは先日議決した斜里町自治基本条例に基づき策定するものである。条例の精神にのっとり、総合計画を協働でつくる初の試みである。
- ・ 行政委員の位置付けは何なのか？ 特別な何かをしてもらえるのか。
  - 「何かをしてもらえる」というわけではなく、皆さんと同じ策定委員である。各委員が団体推薦、公募委員と同じように、行政からの委員というだけの違いである。もちろん日頃からその部門の仕事をしているので、専門性はあるといえる。また、行政内にも策定委員会とワーキンググループ (WG) を設けているが、それらとの連絡調整役の役割も担っている。
- ・ 職員策定委員会は独自で総合計画を策定しているのか。
  - 独自で策定しているわけではなく、町民策定委員会での協議状況や内容に呼応して、内部協議を行う場である。WG では、各部会からの求めに応じて、資料収集や作成を行うことにもなる。
- ・ 総合計画の文言は誰が書くのか。
  - 基本的には、策定委員が書くものと考えている。従来 of 審議会方式であれば、行政が作成した計画素案に対し審議していたが、今回は策定委員会方式であり、計画も策定委員で作成してもらおう。審議会ではないことをご理解いただきたい。
- ・ 今回の総合計画は 10 年計画とのことなので、この先 10 年間でやりたいこと、やって

ほしいことを整理していくことが大切である。しかし、何でもかんでも入れるものではない。出来ないことを盛り込んでも意味がない。

- ・ 総合計画に対する広報も大切である。認識度を上げることが重要である。これまで行ってきた、まちづくり懇談会や広報誌、HPを有効的に活用することが求められる。
- ・ 第5次計画の検証が最優先と思われる。スタートラインはそれであると思う。
- ・ 第5次計画の総括を基に議論を行った後に、第6次計画は全く違う方向で作成するとすると莫大な時間がかかってしまうため、基本的には、第5次計画をベースに策定作業を進めるのがよいのではないか。
- ・ 部会で議論しまとまった内容は、必ず総合計画に記載されるのか。
  - 部会から全体会議を経てまとめられるが、その間には行政委員を通じて、行政の意向の確認もあるし、議会を説得できる内容でなければならず、必ず明記されるとは言えない。財源の問題もある。
- ・ 財源を考慮せずに、記載しておくことが大事なこともあるのではないか。
- ・ 町長の意向や希望を聞かなくても良いのか。策定作業が進んでからでは、希望や意向を汲めなくなる。町長の意向を聞く機会は今後ないのか。
  - 求める基本テーマに（仮）ではあるが「幸せを実感できる、住みよいまちづくり」としているが、これは町長の意向が反映されているからでもある。また、町民策定委員会での議論は、町長にも報告され、意向は確認しながら協議は進んでいく。
- ・ いずれにしても、早い段階で、町長の意向を聞く機会を用意して欲しい。
- ・ 事務局説明では、この部会長会議後は、部会議論を開始してほしいとのことであったが、今日の会議の結果（今後の方針等）と町長の意向を聞く場として、次回は全体会議としたい。その後、部会に分かれて議論を行っても良い。合同部会のような会議でも良いのではないか。
  
- ・ 第5次総合計画成果検証シート及び関連資料について事務局より説明し意見を求めた。
- ・ 今すぐこの項目を追加して欲しいという事項はないが、議論が進んでいけば、要求項目がでてくる可能性はある。
- ・ 第5次計画の総括だけでは前回以前の流れが解らないので、第5次計画以前の総括も欲しい。その際に、やれなかった事業、やらなかった事業がわかるようにして頂き、その理由も記述して欲しい。
  - 第4次計画の総括はあるはずだが、それ以前となると調べてみなければわからない。第5次計画の総括は、やれた・やれなかったがわかるようにはしたい。
- ・ H24年度事業整理票は希望する部会のみ配布が良いのではないか。膨大な事業数であるので行政の作業時間もかかるだろう。資料は完全にまとまらなくても、出せるものはどんどん提供してほしい。

## (2) 各種会議の運営方針について

- ・ 今後は部会中心に協議が進むこと、部会開催や記録作成等も部会内で自主的に進めていくことなどを事務局から説明。

- ・ 先ほどの議論でも出たが、次回は部会ではなく、町長の意向確認も含め、全体会議を行いたい。また、部会が主導になるとのことなので、部会内での役割決め等を決めたい。部会委員の連絡先等もわからず召集もできないので、次回は全体会議のあとに同時に各部会がスタートをきるのが好ましい。
- 町長の予定を確認し、次回全体会議を1月中下旬に開催したい。その場で部会の役割等を決めて頂きたい。委員召集の事務は事務局（企画係）が行う。
- ・ 部会内に事務局が欲しい。行政委員をその役を担ってもらっても良いのか。
- 部会内の議論で決めて頂きたい。部会運営の共通ルールは事務局（企画係）で作成しお示しするので、それを基に役割等を決めて頂きたい。
- ・ 部会開催する場所は確保・提供してくれるのか。
- 役場庁舎、ゆめホール、ぽると等であれば料金はかからず開催できる。これらの場所であれば行政委員で手配可能である。われわれ事務局は、策定委員会の事務局であり、各部会の事務局を担うものではない。
- ・ 他部会に委員が参加した場合の取扱いはどうするか。
- ・ 委員なので傍聴人ではないので、部会長の許可があれば発言もできるのではないのか。

### (3) 関連事項について

- ・ 議論なし

### (4) その他

- ・ アドバイザーの登用やアンケート実施の件を説明。
- ・ アドバイザーは基本条例の流れもあり、地方自治の専門家でもある、山崎 幹根氏（北海道大学公共政策大学院教授）に依頼してはどうか。斜里町の事も理解しており適任ではないかと思う。先生に来ていただき、総合計画の勉強会を開催したい。早い段階で。委員の中の総合計画に対する認識や温度差があるので共通認識を持ちたい。（異論なし）
- 山崎氏の予定を聞いたうえで検討する。アンケートに関しては特に意見なし。

## 4. 閉会

- ・ 予定していた議事を終え、21:10に会議が終了した。

以上

第6次斜里町総合計画策定委員会 第1回部会長会議 出席者

◇ 委員 ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
委員長	三浦 勝利	○	
副委員長	門間 哲也	○	
みどり部会長	下山 誠	○	
しごと部会長	高橋 秀典	○	
まちなみ部会長	元木 誠二	○	
くらし部会長	戎居 桂三	○	
いきいき部会長	梅村真由美	○	
まなび部会長	近藤 将人	○	
ちょうみん部会長	武山 俊一	○	

◇ 事務局 ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
総務部長	北 雅裕	○	
企画総務課長	渡辺 実	○	
企画係長	河井 謙	○	
企画係	竹川 彰哲	○	
企画係	塩 幸也	○	
企画係	玉井 佐耶加	×	

◇ オブザーバー ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
職員策定委員会委員長	松岡 誠	○	

◇ 一般傍聴 ◇

所 属	氏 名		備 考